

F-LA型ご使用にあたって

適用流体：給水、空気

使用温度範囲：-10℃～60℃、ただし、表面処理がエポキシ樹脂コート品の場合は40℃以下

適用管：JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管 0～0.98MPa（空気は0～0.29MPa）

JIS G 3442 水道用亜鉛めっき鋼管 0～0.98MPa（空気は0～0.29MPa）

JWWA K 116 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管
（VA, VB） 0～1.0Mpa

JWWA K 132 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管
（PA, PB） 0～1.0Mpa

表面処理：亜鉛めっき品とエポキシ樹脂コート品を用意しています。

その他：エポキシ樹脂コート品（コマコート品）を埋設配管に使用する場合は、必ずコートの傷を補修剤で補修し、且つ、適切な防食処理を行ってください。

：一度使用したゴムパッキンは、再使用できません。

：凍結厳禁。



コマ印管継手

LAカップリングF-LA型

F-LA

接合手順及び注意事項

必ず本説明書およびカタログに従って施工してください。



リケンNPR 株式会社



配管コールセンター

配管のお問い合わせ先は下記へおねがいます。

0120-212-016

携帯電話、PHSからは…… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社：〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1

TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681

大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762



リケンNPR 株式会社

F-LA型は、脱管防止機能がありませんので、必ず脱管防止対策を施して使用してください。

工 程

接 合 手 順 ・ 注 意 事 項

1 管の切断

丸のこ盤や帯のこ盤を用いて管軸線に直角に切断してください。

注意

・ライニング鋼管の場合、高速切断機はライニングを損傷させることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ガスやアーク切断機も絶対に使用しないでください。

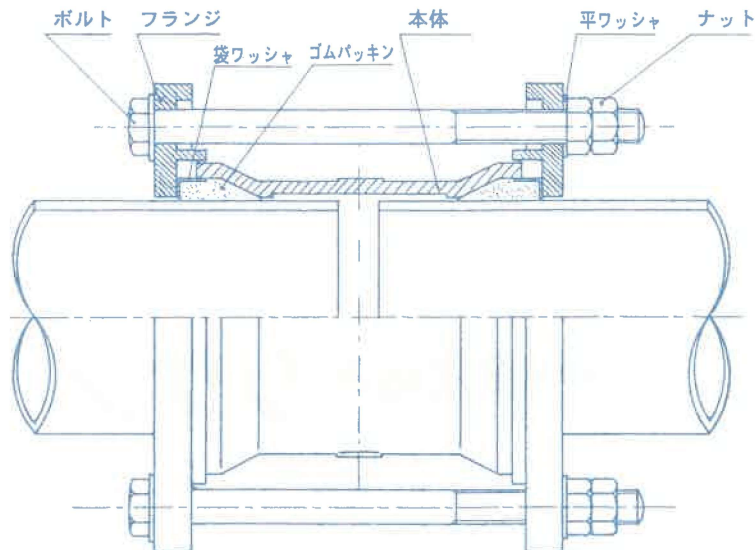
2 管のバリ取り

ヤスリ等を用いて管切断面外周部のバリを取り除いて、軽く面取りを行ってください。

注意

・管のバリが残っていると、ゴムパッキンに傷をつけ漏れの原因になります。

F-LA型構造



工 程

接 合 手 順 ・ 注 意 事 項

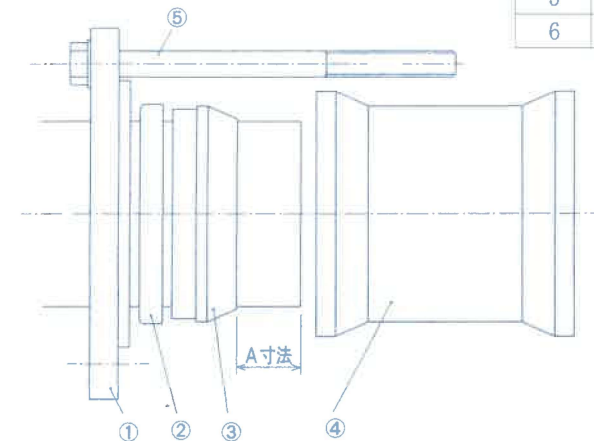
3 管の洗浄

管に付着した切り粉、異物などを、洗浄剤やウエスなどを用いて除去してください。この時、管表面の管端から約100mmの範囲にキズがあると漏れの原因になりますので、キズはヤスリ等で必ず除去してください。

4 部品の装着

管に部品を下図のように①フランジ、②袋ワッシャ、③ゴムパッキン、④本体、⑤ボルトの順に装着してください。袋ワッシャは、ゴムパッキンの外側にかぶさるような方向に装着してください。ゴムパッキンの装着位置は、A寸法を必ず守ってください。

呼び	A寸法
4	40mm
5	40
6	40



5 ナットの締め付け

ナットは、対角線上交互にフランジが傾かないよう均等に締め付けてください。下表の締め付けトルク値に従って、ナットを締め付けてください。

呼び	標準締め付けトルク N・m {kgf・m}	レンチの呼び×加える力	
		mm	N {kgf}
4	49 {5}	300	× 196 {20}
5	59 {6}	300	× 235 {24}
6	78 {8}	375	× 345 {25}

①鋼管接合時

適用流体：水、温水、ガス、油類

使用温度範囲：亜鉛メッキ品は-10~60℃、エポキシ樹脂コート品は40℃以下。

・適用流体、使用温度範囲はゴムパッキンの材質により変わります。

必ずカタログで確認してください。

適用管：JIS G 3452	配管用炭素鋼管	0~1.0MPa(ガスは0~0.3MPa)
圧力 JIS G 3442	水配管用亜鉛めっき鋼管	0~1.0MPa
JWWA K 116	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VA,VB)	0~1.0MPa
JWWA K 132	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(PA,PB)	0~1.0MPa

②塩化ビニル管接合時

適用流体：水

使用温度範囲：亜鉛メッキ品、エポキシ樹脂コート品共に0~40℃

適用管：JIS K 6741 硬質塩化ビニル管 (VPのみ) 0~1.0MPa

圧力 JIS K 6742 水道用硬質塩化ビニル管 0~0.75MPa

・塩化ビニル管呼び1B及び1-1/4Bを接合する場合は、ナット、ロックリング、ワッシャ、パッキンを組替え、HI-LA型の施工要領に従ってください。

③ポリエチレン管接合時

適用流体：水

使用温度範囲：亜鉛メッキ品、エポキシ樹脂コート品共に0~40℃

適用管：JIS K 6762 水道用ポリエチレン二層管 (1種) 0~0.75MPa

圧力 但し1-1/4B以上のサイズを接合する時は、インコアを管内部に挿入してください。

・水道用ポリエチレン二層管 (1種) 以外の管を接合する場合は、部品を組替え、P-LA型の施工要領に従ってください。または、必ず接合前に問い合わせしてください。

・露出配管の場合、太陽の直射や季節(夏、冬)によって管が伸縮して、脱管することもありますので必ず蛇行配管を行ってください。

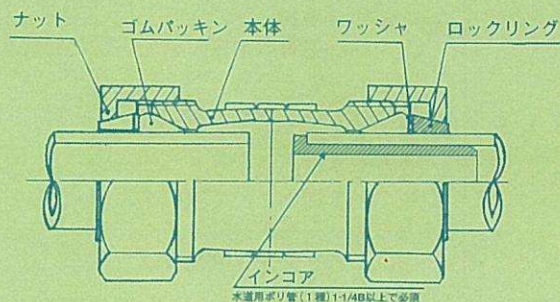
・20℃を越える温度で使用する場合はパイプ強度(最高使用圧力)が低下しますので注意してください。

④表面处理：亜鉛メッキ品とエポキシ樹脂コート品を用意しています。

⑤その他：一度使用したゴムパッキン、ロックリング、ワッシャ及びインコアは再利用しないでください。

：凍結厳禁。

HI-LAマルチ型構造



コマ印管継手

LAカップリング

HI-LAマルチ

(鋼管・塩ビ管・ポリ管対応型)

接合手順および注意事項



リケンNPR 株式会社



配管コールセンター

配管のお問い合わせ先は下記へおねがします。

0120-212-016

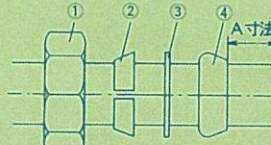
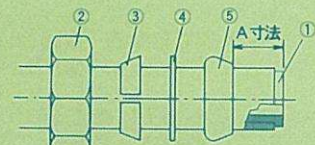
携帯電話、PHSからは…… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

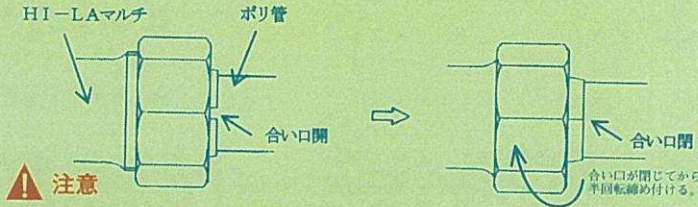

本社〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1

TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681

大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762

工程	接合手順・注意事項												
1 管の切断	<p>鋼管は丸のこ盤や帯のこ盤、塩ビ管及びポリ管はのこぎりなどを用いて管軸線に直角に切断してください。</p> <p>▲ 注意 ・ライニング鋼管の場合、パイプカッターや高速切断機はライニングを損傷させることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ガスやアーク切断機も絶対に使用しないでください。</p>												
2 管のバリ取り	<p>やすり等を用いて管切断面外周部のバリを取り除いて、軽く面取りを行ってください。</p> <p>▲ 注意 ・管のバリが残っていると、ゴムパッキンに傷をつけ漏れの原因になります。</p>												
3 管の洗浄	<p>管に付着した切り粉、異物などを、洗浄剤やウエスなどを用いて除去してください。この時、管表面の管端から約50mmの範囲にキズがあると漏れの原因になりますので、必ず確認してください。</p>												
4 部品の装着	<p>・管に部品を下図1のように①ナット、②ロックリング、③ワッシャ、④ゴムパッキンの順に装着してください。</p> <p>・インコアの挿入が必須となる水道用ポリエチレン二層管（1種）の1-1/4B以上では、下図2のように①インコア、②ナット、③ロックリング、④ワッシャ、⑤ゴムパッキンの順に装着してください。</p> <p>・上記の何れの場合においても、ゴムパッキン装着位置は、A寸法を必ず守ってください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>図1. 鋼管・塩ビ管及びポリ管 図2. ポリ管1-1/4B以上接合時</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>呼び(B)</th> <th>A寸法</th> <th>特寸ソケットのA寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/2,3/4,1</td> <td>15mm</td> <td>30mm</td> </tr> <tr> <td>1-1/4,1-1/2,2</td> <td>20mm</td> <td>35mm</td> </tr> <tr> <td>2-1/2,3</td> <td>25mm</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲ 注意 A寸法が過大になると、管先端同士あるいは管先端が継手内部に突き当たり、性能が発揮されません。</p>	呼び(B)	A寸法	特寸ソケットのA寸法	1/2,3/4,1	15mm	30mm	1-1/4,1-1/2,2	20mm	35mm	2-1/2,3	25mm	—
呼び(B)	A寸法	特寸ソケットのA寸法											
1/2,3/4,1	15mm	30mm											
1-1/4,1-1/2,2	20mm	35mm											
2-1/2,3	25mm	—											

工程	接合手順・注意事項																																																	
5 ナットの締め付け	<p>・鋼管及び塩ビ管接合時は下表のトルク値に従って、ナットを締め付けてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び(B)</th> <th colspan="2">鋼管・ライニング鋼管</th> <th colspan="2">硬質塩化ビニル管</th> </tr> <tr> <th>標準締め付けトルク N・m</th> <th>レボの呼び×加える力 mm N</th> <th>標準締め付けトルク N・m</th> <th>レボの呼び×加える力 mm N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/2</td> <td>69</td> <td>450×196</td> <td>39</td> <td>350×157</td> </tr> <tr> <td>3/4</td> <td>78</td> <td>450×226</td> <td>59</td> <td>450×177</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>98</td> <td>600×206</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1-1/4</td> <td>118</td> <td>600×245</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1-1/2</td> <td>157</td> <td>900×216</td> <td>88</td> <td>600×186</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>196</td> <td>900×265</td> <td>98</td> <td>900×127</td> </tr> <tr> <td>2-1/2</td> <td>225</td> <td>1200×226</td> <td>225</td> <td>1200×226</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>245</td> <td>1200×245</td> <td>245</td> <td>1200×245</td> </tr> </tbody> </table> <p>注意. 硬質塩化ビニル管呼び1B及び1-1/4Bを接合する場合は、ナット、ロックリング、ワッシャ、パッキンを組替え、HI-LA型の施工要領に従ってください。</p> <p>・ポリ管接合時はナットを手で仮締めを行った後、レンチを用いてロックリングの合い口が閉じてからナットを半回転締め付けてください。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>▲ 注意 ・鋼管、塩ビ管及びポリ管接合時にナットを過剰に締め付けると、ゴムパッキンを損傷する恐れがありますので注意してください。</p> <p>★ロックリングの追い込み ・接合する管両側が固定されている場合は、ロックリングの追い込みを行ってください。 例：配管システムの中の最終接続箇所でも両側の管がすでに固定されている場合。 ：埋設配管の補修で両側の管が埋設されている場合。</p> <p>・ロックリングの追い込み方法 ナットを軽く締め付けてから短管などを用いロックリングの端を2～3回たたいて追い込んでからナットを締め付けてください。これを2～3回繰り返して締め付けてください。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	呼び(B)	鋼管・ライニング鋼管		硬質塩化ビニル管		標準締め付けトルク N・m	レボの呼び×加える力 mm N	標準締め付けトルク N・m	レボの呼び×加える力 mm N	1/2	69	450×196	39	350×157	3/4	78	450×226	59	450×177	1	98	600×206	—	—	1-1/4	118	600×245	—	—	1-1/2	157	900×216	88	600×186	2	196	900×265	98	900×127	2-1/2	225	1200×226	225	1200×226	3	245	1200×245	245	1200×245
呼び(B)	鋼管・ライニング鋼管		硬質塩化ビニル管																																															
	標準締め付けトルク N・m	レボの呼び×加える力 mm N	標準締め付けトルク N・m	レボの呼び×加える力 mm N																																														
1/2	69	450×196	39	350×157																																														
3/4	78	450×226	59	450×177																																														
1	98	600×206	—	—																																														
1-1/4	118	600×245	—	—																																														
1-1/2	157	900×216	88	600×186																																														
2	196	900×265	98	900×127																																														
2-1/2	225	1200×226	225	1200×226																																														
3	245	1200×245	245	1200×245																																														



コマ印管継手

LAカップリング P-LA 型

P-LA

接合手順及び注意事項

必ず本説明書およびカタログに従って施工してください。



リケンNPR 株式会社



配管コールセンター

配管のお問い合わせ先は下記へおねがいします。

0120-212-016

携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社:〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1

TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681

大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762



リケンNPR 株式会社

適用流体：給水、
使用温度範囲：0～40℃

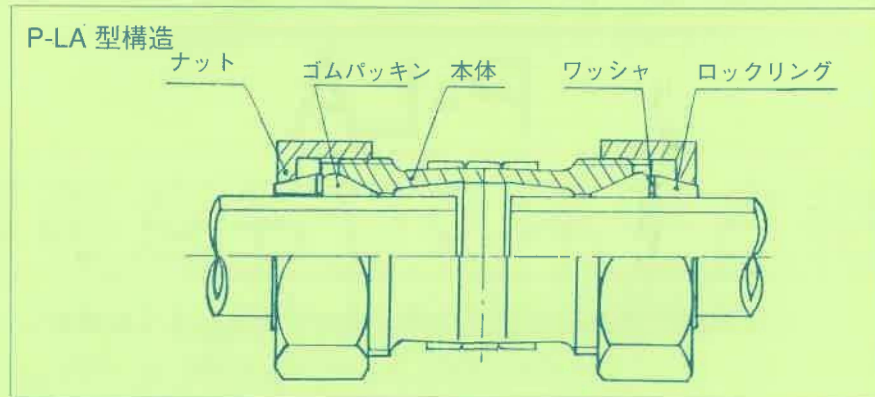
適用管：JIS K 6762 水道用ポリエチレン管、0～0.75MPa

- ・一般用ポリエチレン管に用いますと、水道用ポリエチレン管に比べ性能が低下しますので注意してください。
- ・鋼管、塩化ビニル管に用いる場合は、部品を組替え、LA型、H1-LA型の施工要領に従ってください。

表面処理：亜鉛めっき品とエポキシ樹脂コート品を用意しています。

その他：露出配管の場合、太陽の直射や季節（夏、冬）によって管が伸縮して、脱管することもありますので必ず蛇行配管を行ってください。

- ：一度使用したゴムパッキン、ロックリングは、再使用できません。
- ：凍結厳禁。



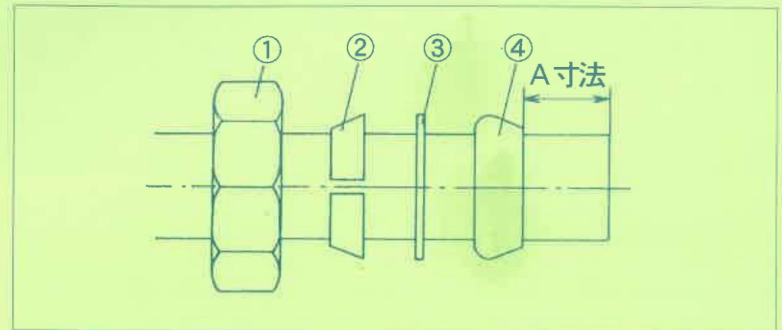
工程

接合手順・注意事項

4

部品の装着

管に部品を下図のように①ナット、②ロックリング、③ワッシャ、④ゴムパッキンの順に装着してください。ゴムパッキンの装着位置は、A寸法を必ず守ってください。

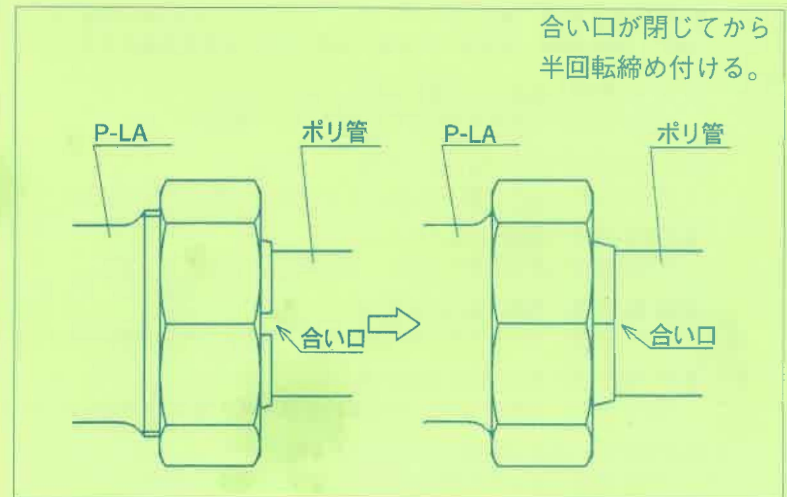


呼び	A寸法	特寸ソケットのA寸法
1/2, 3/4, 1	15 mm	30 mm
1 1/4, 1 1/2, 2	20	35

5

ナットの締め付け

ナットを手で仮締めしてから、パイプレンチを使用してロックリングの合い口が閉じてからナットを半回転締め付けてください。



工程

接合手順・注意事項

1

管の切断

のこぎりなどを用いて管軸線に直角に切断してください。

2

管のバリ取り

切断した管は、ヤスリ、カッターナイフ等を用いて管切断面のバリを取り除いて、軽く面取りを行ってください。

3

管の洗浄

管に付着した切り粉、異物などを、洗浄剤やウエスなどを用いて除去してください。この時、管表面の管端から約50mmの範囲にキズがあると漏れの原因になりますので、必ず確認してください。

LA型は、脱管防止機能がありませんので、必ず脱管防止対策を施して使用してください。

適用流体：給水、温水、ガス、油類

使用温度範囲：標準品は、 $-10\sim 60^{\circ}\text{C}$ 。(パッキン材質により異なる)

ただし、表面処理がエポキシ樹脂コート品の場合は 40°C 以下

適用管：JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管 0~0.98MPa(ガスは~0.29MPa)

圧力 JIS G 3442 水道用亜鉛めっき鋼管 0~0.98MPa(ガスは~0.29MPa)

JWWA K 116 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管
(VA, VB) 0~1.0MPa

JWWA K 132 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管
(PA, PB) 0~1.0MPa

JIS K 6741 硬質塩化ビニル管(VPのみ) 0~0.75MPa

JIS K 6742 水道用硬質塩化ビニル管 0~0.75MPa

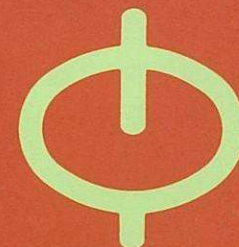
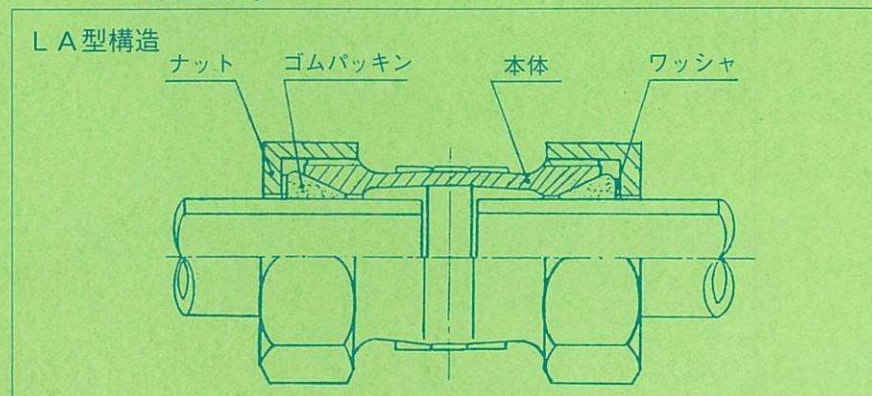
- ・塩化ビニル管は、呼び2(50)以下に適用します。
- ・鋼管用と塩化ビニル管用は、一部部品の異なるものがあります。必ずカタログで確認してください。
- ・ポリエチレン管に用いる場合は、部品を組替え、P-LA型の施工要領に従ってください。

表面処理：亜鉛めっき品とエポキシ樹脂コート品を用意しています。

その他：適用流体、使用温度範囲は、ゴムパッキンの材質により変わります。必ずカタログで確認してください。

：一度使用したゴムパッキンは、再使用できません。

：凍結厳禁。



コマ印管継手

LAカップリング LA型

LA

接合手順及び注意事項

必ず本説明書およびカタログに従って施工してください。



リケンNPR 株式会社



配管コールセンター

配管のお問い合わせ先は下記へおねがいします。

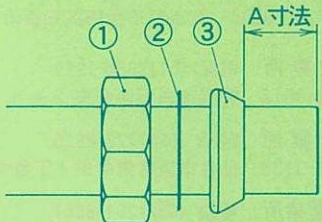
0120-212-016

携帯電話、PHSからは…… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社：〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1

TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681
大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762

工 程	接合手順・注意事項												
1 管の切断	<p>鋼管は丸のご盤や帯のご盤、塩ビ管はのこぎりなどを用いて管軸線に直角に切断してください。</p> <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライニング鋼管の場合、パイプカッタや高速切断機はライニングを損傷させることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ガスやアーク切断機も絶対に使用しないでください。 												
2 管のバリ取り	<p>やすり等を用いて管切断面外周部のバリを取り除いて、軽く面取りを行ってください。</p> <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管のバリが残っていると、ゴムパッキンに傷をつけ漏れの原因になります。 												
3 管の洗浄	<p>管に付着した切り粉、異物などを、洗浄剤やウエスなどを用いて除去してください。この時、管表面の管端から約50mmの範囲にキズがあると漏れの原因になりますので、キズはヤスリ等で必ず除去してください。</p>												
4 部品の装着	<p>管に部品を下図のように①ナット、②ワッシャ、③ゴムパッキンの順に装着してください。ゴムパッキンの装着位置は、A寸法を必ず守ってください。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>呼び</th> <th>A寸法</th> <th>特寸ソケットのA寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/8, 1/2, 3/4, 1</td> <td>15 mm</td> <td>30 mm</td> </tr> <tr> <td>1 1/4, 1 1/2, 2</td> <td>20</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2 1/2, 3</td> <td>25</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	呼び	A寸法	特寸ソケットのA寸法	3/8, 1/2, 3/4, 1	15 mm	30 mm	1 1/4, 1 1/2, 2	20	35	2 1/2, 3	25	—
呼び	A寸法	特寸ソケットのA寸法											
3/8, 1/2, 3/4, 1	15 mm	30 mm											
1 1/4, 1 1/2, 2	20	35											
2 1/2, 3	25	—											

工 程	接合手順・注意事項																																
5 ナットの締め付け	<p>下表の締め付けトルク値に従って、ナットを締め付けてください。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び</th> <th colspan="2">鋼管、ライニング鋼管、硬質塩化ビニル管</th> </tr> <tr> <th>標準締め付けトルク N・m {kgf・m}</th> <th>レンチの呼び×加える力 mm N {kgf}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/8</td> <td>39 {4}</td> <td>350×157 {16}</td> </tr> <tr> <td>1/2</td> <td>39 {4}</td> <td>350×157 {16}</td> </tr> <tr> <td>3/4</td> <td>59 {6}</td> <td>450×177 {18}</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>69 {7}</td> <td>450×206 {21}</td> </tr> <tr> <td>1 1/4</td> <td>78 {8}</td> <td>600×167 {17}</td> </tr> <tr> <td>1 1/2</td> <td>88 {9}</td> <td>600×186 {19}</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>98 {10}</td> <td>600×206 {21}</td> </tr> <tr> <td>2 1/2</td> <td>127 {13}</td> <td>900×167 {17}</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>147 {15}</td> <td>900×196 {20}</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過大なトルクで締め付けると、ゴムパッキンを損傷する恐れがありますので、標準締め付けトルクを守ってください。 	呼び	鋼管、ライニング鋼管、硬質塩化ビニル管		標準締め付けトルク N・m {kgf・m}	レンチの呼び×加える力 mm N {kgf}	3/8	39 {4}	350×157 {16}	1/2	39 {4}	350×157 {16}	3/4	59 {6}	450×177 {18}	1	69 {7}	450×206 {21}	1 1/4	78 {8}	600×167 {17}	1 1/2	88 {9}	600×186 {19}	2	98 {10}	600×206 {21}	2 1/2	127 {13}	900×167 {17}	3	147 {15}	900×196 {20}
呼び	鋼管、ライニング鋼管、硬質塩化ビニル管																																
	標準締め付けトルク N・m {kgf・m}	レンチの呼び×加える力 mm N {kgf}																															
3/8	39 {4}	350×157 {16}																															
1/2	39 {4}	350×157 {16}																															
3/4	59 {6}	450×177 {18}																															
1	69 {7}	450×206 {21}																															
1 1/4	78 {8}	600×167 {17}																															
1 1/2	88 {9}	600×186 {19}																															
2	98 {10}	600×206 {21}																															
2 1/2	127 {13}	900×167 {17}																															
3	147 {15}	900×196 {20}																															



コマ印管継手

LAカップリング P-LA 型

P-LA

接合手順及び注意事項

必ず本説明書およびカタログに従って施工してください。



リケンNPR 株式会社



配管コールセンター

配管のお問い合わせ先は下記へおねがいたします。

0120-212-016

携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社 〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1

TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681

大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762



リケンNPR 株式会社

適用流体：給水、
使用温度範囲：0～40℃

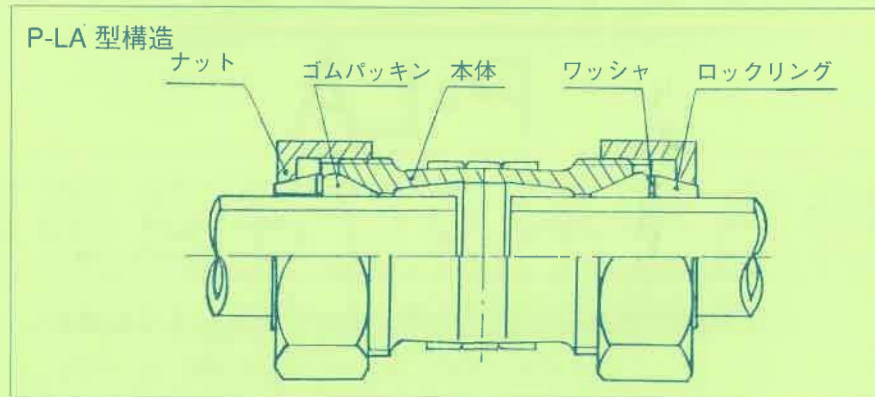
適用管：JIS K 6762 水道用ポリエチレン管、0～0.75MPa

- ・一般用ポリエチレン管に用いますと、水道用ポリエチレン管に比べ性能が低下しますので注意してください。
- ・鋼管、塩化ビニル管に用いる場合は、部品を組替え、LA型、H-LA型の施工要領に従ってください。

表面処理：亜鉛めっき品とエポキシ樹脂コート品を用意しています。

その他：露出配管の場合、太陽の直射や季節（夏、冬）によって管が伸縮して、脱管することもありますので必ず蛇行配管を行ってください。

- ：一度使用したゴムパッキン、ロックリングは、再使用できません。
- ：凍結厳禁。



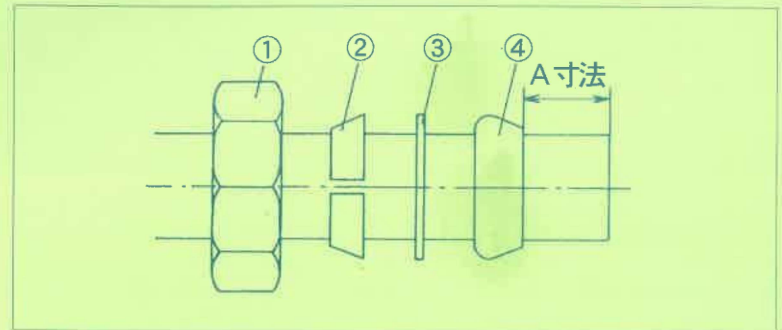
工程

接合手順・注意事項

4

部品の装着

管に部品を下図のように①ナット、②ロックリング、③ワッシャ、④ゴムパッキンの順に装着してください。ゴムパッキンの装着位置は、A寸法を必ず守ってください。

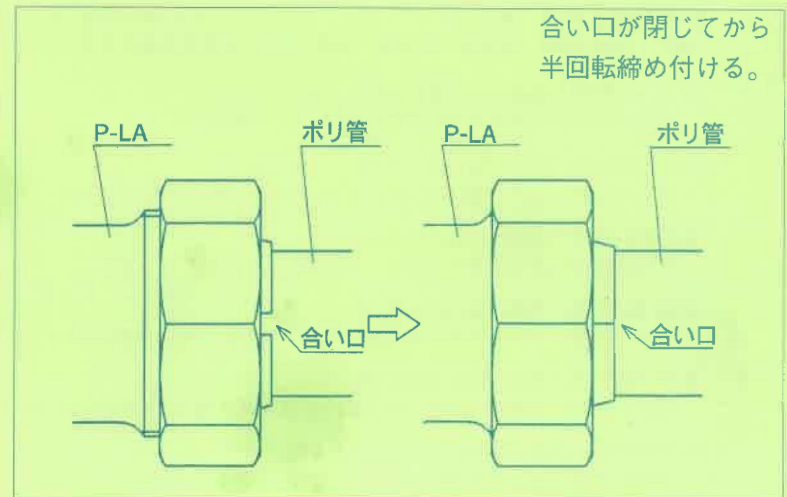


呼び	A寸法	特寸ソケットのA寸法
1/2, 3/4, 1	15 mm	30 mm
1 1/4, 1 1/2, 2	20	35

5

ナットの締め付け

ナットを手で仮締めしてから、パイプレンチを使用してロックリングの合い口が閉じてからナットを半回転締め付けてください。



工程

接合手順・注意事項

1

管の切断

のこぎりなどを用いて管軸線に直角に切断してください。

2

管のバリ取り

切断した管は、ヤスリ、カッターナイフ等を用いて管切断面のバリを取り除いて、軽く面取りを行ってください。

3

管の洗浄

管に付着した切り粉、異物などを、洗浄剤やウエスなどを用いて除去してください。この時、管表面の管端から約50mmの範囲にキズがあると漏れの原因になりますので、必ず確認してください。

コア内蔵型メカニカル式管端防食管継手 LAカップリングRC-LA型

RC-LA型は、従来のLAカップリングの本体内部に樹脂製の防食コア部を内蔵したコア内蔵型メカニカル式管端防食管継手で、水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管、水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管両管種に使用できます。また、防食コア部を内蔵していますが管の差し込み長さを調節することで、補修配管にも使用できます。

1. 適用範囲

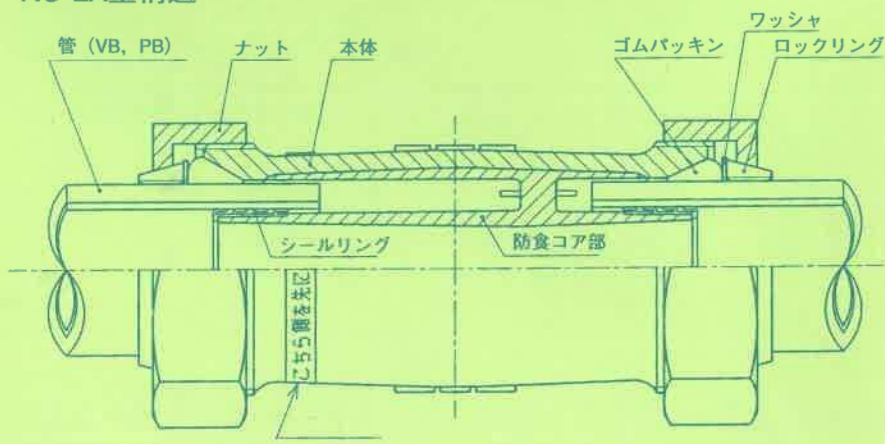
- ・適用流体：給水（上水）
- ・適用温度：0～40℃
- ・使用圧力：0～1 MPa
- ・適用管：JWWA K116 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管
（VA、VB）
JWWA K132 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管
（PA、PB）

2. 構造

従来のHI-LA型の本体内部に樹脂製の防食コア部を内蔵した継手で、防食コア部外面と管ライニング内面の隙間をシールリングで止水することで管端を防食する構造です。

部品のナット、ワッシャ、ゴムパッキン、ロックリングは、HI-LA型と同一です。

RC-LA型構造



コマ印管継手


LAカップリング RC-LA 型

RC-LA

接合手順及び注意事項

必ず本説明書およびカタログに従って施工してください。

 **リケンNPR 株式会社**

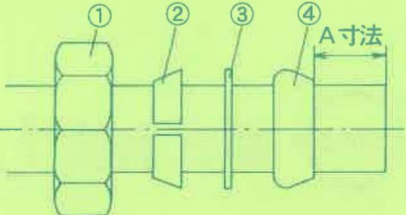
 **配管コールセンター**
配管のお問い合わせ先は下記へおねがいます。

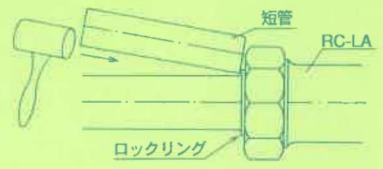
0120-212-016

携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社：〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1
TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681
大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762

工程	接合手順・注意事項								
1 管の切断	<p>鋼管は丸のこ盤や帯のこ盤などを用いて管軸線に直角に切断してください。</p> <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> パイプカッタや高速切断機はライニングを損傷させることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ガスやアーク切断機も絶対に使用しないでください。 								
2 管のバリ取り	<p>やすりなどを用いて管切断面外周部のバリを取り除いて、軽く面取りを行ってください。また、管内周面のライニングのバリもスクレーパーなどで取り除いてください。</p> <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 管のバリが残っていると、ゴムパッキンに傷をつけ漏れの原因になります。 								
3 管の洗浄	<p>管に付着した切り粉、異物などを、洗浄剤やウエスなどを用いて除去してください。この時、管表面の管端から約50mmの範囲にキズがあると漏れの原因になりますので、キズはやすりなどで必ず除去してください。</p>								
4 部品の装着	<p>管に部品を下図のように①ナット、②ロックリング、③ワッシャ、④ゴムパッキンの順に装着してください。ゴムパッキンの装着位置は、A寸法を必ず守ってください。</p>  <table border="1" data-bbox="481 1268 828 1484"> <thead> <tr> <th>呼び</th> <th>A寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/2, 3/4, 1</td> <td>15 mm</td> </tr> <tr> <td>1 1/4, 1 1/2, 2</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>2 1/2</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	呼び	A寸法	1/2, 3/4, 1	15 mm	1 1/4, 1 1/2, 2	20	2 1/2	25
呼び	A寸法								
1/2, 3/4, 1	15 mm								
1 1/4, 1 1/2, 2	20								
2 1/2	25								

工程	接合手順・注意事項																										
5 ナットの締め付け	<p>下表の締め付けトルク値に従って、ナットを締め付けてください。</p> <table border="1" data-bbox="1366 183 1792 710"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び</th> <th colspan="2">鋼管、ライニング鋼管</th> </tr> <tr> <th>標準締め付けトルク N・m (kgf・m)</th> <th>レンチの呼び×加える力 mm N (kgf)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/2</td> <td>69 {7}</td> <td>450×196 {20}</td> </tr> <tr> <td>3/4</td> <td>78 {8}</td> <td>450×226 {23}</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>98 {10}</td> <td>600×206 {21}</td> </tr> <tr> <td>1 1/4</td> <td>118 {12}</td> <td>600×245 {25}</td> </tr> <tr> <td>1 1/2</td> <td>157 {16}</td> <td>900×216 {22}</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>196 {20}</td> <td>900×265 {27}</td> </tr> <tr> <td>2 1/2</td> <td>225 {23}</td> <td>1200×226 {23}</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 過大なトルクで締め付けると、ゴムパッキンを損傷する恐れがありますので、標準締め付けトルクを守ってください。 <p>★ロックリングの追い込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 接合する管両側が固定されている場合は、ロックリングの追い込みを行ってください。(最後に締め付ける側のみに必要になります) <p>例：配管システムの中の最終接続箇所ですべての管がすでに固定されている場合。 ：埋設配管の補修で両側の管が埋設（固定）されている場合。</p> <p>追い込みの方法</p> <p>ナットを軽く締め付けてから短管などを用いロックリングの端を2、3回たたいて追い込んでからナットを締め付けてください。これを2、3回繰り返して締め付けてください。</p> 	呼び	鋼管、ライニング鋼管		標準締め付けトルク N・m (kgf・m)	レンチの呼び×加える力 mm N (kgf)	1/2	69 {7}	450×196 {20}	3/4	78 {8}	450×226 {23}	1	98 {10}	600×206 {21}	1 1/4	118 {12}	600×245 {25}	1 1/2	157 {16}	900×216 {22}	2	196 {20}	900×265 {27}	2 1/2	225 {23}	1200×226 {23}
呼び	鋼管、ライニング鋼管																										
	標準締め付けトルク N・m (kgf・m)	レンチの呼び×加える力 mm N (kgf)																									
1/2	69 {7}	450×196 {20}																									
3/4	78 {8}	450×226 {23}																									
1	98 {10}	600×206 {21}																									
1 1/4	118 {12}	600×245 {25}																									
1 1/2	157 {16}	900×216 {22}																									
2	196 {20}	900×265 {27}																									
2 1/2	225 {23}	1200×226 {23}																									

RC-LAご使用にあたって

- RC-LAは、水道配管用です。給湯や油類、薬品類の配管には使用できません。
- RC-LAは、高温（40℃を超える温度）にさらされると本体防食コア部が損傷する恐れがありますので絶対に避けてください。
例：トーチランプ、溶接作業、たき火
- 一度使用したゴムパッキン、ロックリングは、再使用できません。
- 凍結厳禁
- 所定の性能を発揮させるため必ずA寸法を守ってください。
- 両側の管が固定されている場合は、ロックリングの追い込みを行ってください。
- ゴムパッキンを傷つけないよう注意してください。
- 保管は、屋内を原則とします。やむを得ず屋外に保管する場合は、梱包して直射日光や雨露、塵埃を避けてください。
- その他、ご不明な点は当社までお問い合わせください。

補修配管に用いる場合

工程

接合手順・注意事項

1

管の切断
寸法どり

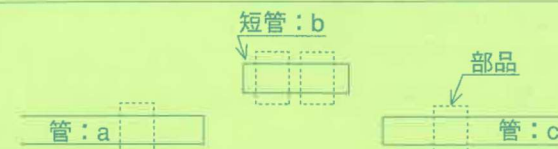
W寸法・B寸法に管を切断してください。



呼び	W寸法	B寸法
1/2, 3/4, 1	45mm	100mm以上
1 1/4, 1 1/2, 2	55mm	130mm以上
2 1/2	65mm	180mm以上

2

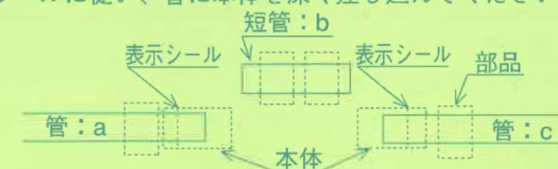
部品の装着



▲注意、本体を深く差し込む側は、ゴムパッキンの装着位置をA寸法の3倍程度に仮装着してください。

3

本体仮装着



▲注意、本体を差し込む側を間違えたり、差し込みが不足すると次の作業ができなくなりますので注意してください。

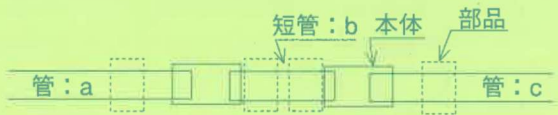
4

短管セット



5

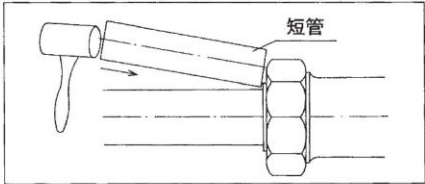
本体移動



6

ナット
締め付け



工 程	接合手順・注意事項			
7 ナットの締め付け	下表に従って、ナットを締め付けてください。			
	呼 び A B	標準締め付けトルク N・m {kgf・m}	レンチの呼び × 加える力 mm N {kgf}	
	20 3/4	78 {8}	450 x 226 {23}	
	25 1	98 {10}	600 x 206 {21}	
	<p>▲ 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管の一番最後に締め付ける場合は、ロックリングの追い込みを行って下さい。ナットを軽く締め付けてから短管などを用いロックリングの端をたたいて追い込んでからナットを締め付けてください。これを2、3回くりかえして締め付けてください。 			
				
	<p>▲ 注意事項</p> <p>めすアダプターのめねじは、プラコート鉛管のおねじのように青銅製器具おねじ専用です。</p> <p>鉄おねじに対しては、防食効果がありませんのでねじ込まないでください。</p> <p>管端コアは、当社専用の管端コアを必ず使用してください。類似の管端コアは絶対に使用しないでください。また一度使用した管端コアは再使用できません。</p>			



管端防食LAカップリングRK型 RK-LA

接合手順および注意事項

必ず本説明書に従って施工してください。

 **リケンNPR 株式会社**

 **配管コールセンター**

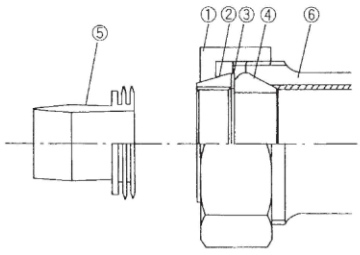
配管のお問い合わせ先は下記へおねがいします。

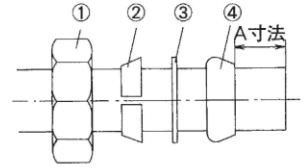
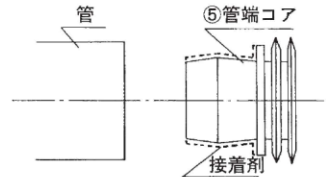
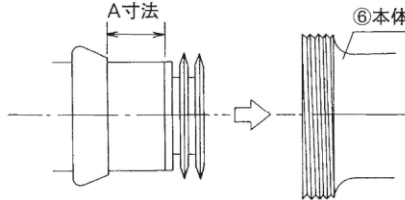
0120-212-016

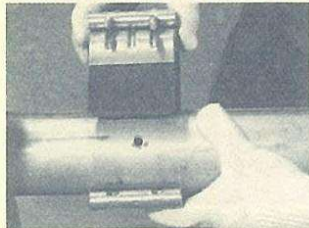
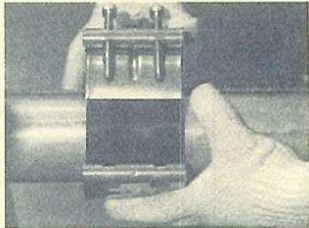
携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

本社 〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1
TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681
大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762

工 程	接合手順・注意事項
1 管の切断	<p>管の切断は、丸のご盤、弓のご盤または帯のご盤を用いて管軸線に直角に切断してください。</p> <p>▲注意</p> <ul style="list-style-type: none"> パイプカッタ（ローラーカッタ）や高速切断砥石は、内径が絞られたりライニングが損傷したりすることがあるので絶対に使用しないでください。またガスやアーク切断機も絶対に使用しないでください。
2 管のバリ取り	<p>管のバリは、ヤスリ等で除去してください。内面ライニングのバリは、スクレーパなどで除去してください。</p> <p>▲注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 管のバリが残っていると、ゴムパッキンに傷をつけ漏れの原因になります。
3 管の洗浄	<p>管の切り粉、異物などを、ウエスなどを用いて除去してください。この時、管表面の管端から約50mmの範囲に管軸方向の傷がないことを確認してください。管軸方向の傷は、漏れの原因になりますので、必ずチェックしてください。</p>
<p>RK-LAの構成</p> <p>①ナット ②ロックリング ③ワッシャ ④ゴムパッキン ⑤管端コア ⑥本体</p> 	

工 程	接合手順・注意事項											
4 部品の装着	<p>管に部品を下図のように①ナット、②ロックリング、③ワッシャ、④ゴムパッキンの順に装着してください。ゴムパッキンの装着位置は、A寸法を必ず守ってください。</p>  <table border="1" data-bbox="1680 454 1848 558"> <thead> <tr> <th colspan="2">呼 び</th> <th rowspan="2">A寸法</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>3/4</td> <td>15mm</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>1</td> <td>15mm</td> </tr> </tbody> </table>	呼 び		A寸法	A	B	20	3/4	15mm	25	1	15mm
呼 び		A寸法										
A	B											
20	3/4	15mm										
25	1	15mm										
5 管端コアの押し込み	<p>部品装着後、接着剤を塗布した管端コア⑤を管に押し込んでください。押し込みにくいときは、当て木を添えてハンマーなどで軽く打ち込んでください。接着剤は、市販の塩ビ管用接着剤を使用してください。</p> <p>▲注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 部品を装着する前に管端コアを押し込むと部品が装着できません。 											
6 管の挿入	<p>管に管端コアを押し込んでから30秒以上経過してから本体に挿入してください。</p> 											

工程	接合手順・注意事項																								
1. 漏水範囲と止水幅の確認	<p>管の漏水範囲が継手の有効止水幅（下表）以内であることを確認して下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サイズ</th> <th>有効止水幅</th> <th>サイズ</th> <th>有効止水幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32A</td> <td>20 mm</td> <td>100A</td> <td>50 mm</td> </tr> <tr> <td>40A</td> <td>20 mm</td> <td>125A</td> <td>50 mm</td> </tr> <tr> <td>50A</td> <td>30 mm</td> <td>150A</td> <td>50 mm</td> </tr> <tr> <td>65A</td> <td>30 mm</td> <td>200A</td> <td>60 mm</td> </tr> <tr> <td>80A</td> <td>50 mm</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	サイズ	有効止水幅	サイズ	有効止水幅	32A	20 mm	100A	50 mm	40A	20 mm	125A	50 mm	50A	30 mm	150A	50 mm	65A	30 mm	200A	60 mm	80A	50 mm	—	—
サイズ	有効止水幅	サイズ	有効止水幅																						
32A	20 mm	100A	50 mm																						
40A	20 mm	125A	50 mm																						
50A	30 mm	150A	50 mm																						
65A	30 mm	200A	60 mm																						
80A	50 mm	—	—																						
2. CH-LA の取り付け	<p>①管の漏水箇所とガスケット合わせ面位置とを離して、ナット側ケースを管に取り付けます（写真1）。</p> <p>②ガスケットを管に巻き付ける様に、ナット側ケースに差し込みます（写真2）。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【写真1】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【写真2】</p> </div> </div>																								
3. 締め付け	<p>・下表の規定トルクに達する迄、ボルトを左右交互に締め付けます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サイズ</th> <th>締め付けトルク</th> <th>サイズ</th> <th>締め付けトルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32A</td> <td>7~10 Nm</td> <td>100A</td> <td>15~20 Nm</td> </tr> <tr> <td>40A</td> <td>7~10 Nm</td> <td>125A</td> <td>25~30 Nm</td> </tr> <tr> <td>50A</td> <td>12~15 Nm</td> <td>150A</td> <td>25~30 Nm</td> </tr> <tr> <td>65A</td> <td>12~15 Nm</td> <td>200A</td> <td>35~40 Nm</td> </tr> <tr> <td>80A</td> <td>15~20 Nm</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	サイズ	締め付けトルク	サイズ	締め付けトルク	32A	7~10 Nm	100A	15~20 Nm	40A	7~10 Nm	125A	25~30 Nm	50A	12~15 Nm	150A	25~30 Nm	65A	12~15 Nm	200A	35~40 Nm	80A	15~20 Nm	—	—
サイズ	締め付けトルク	サイズ	締め付けトルク																						
32A	7~10 Nm	100A	15~20 Nm																						
40A	7~10 Nm	125A	25~30 Nm																						
50A	12~15 Nm	150A	25~30 Nm																						
65A	12~15 Nm	200A	35~40 Nm																						
80A	15~20 Nm	—	—																						
4. その他	<p>・CH-LAは離脱防止機能が無い応急補修専用継手です。何らかの方法で離脱防止を実施のうえ、早期に恒久的な修理を行ってください。</p>																								




LAカップリング

GR-LA/FX-LA/CH-LA

接合手順および注意事項

必ず本説明書およびカタログに従って施工してください。

 **リケンNPR 株式会社**

 **配管コールセンター**
配管のお問い合わせ先は下記へおねがいます。

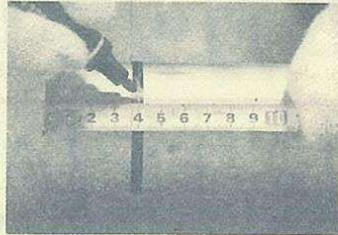
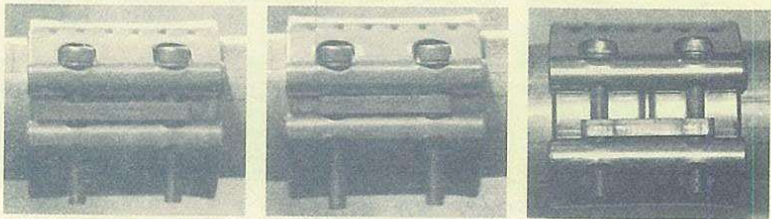
0120-212-016

携帯電話、PHSからは …… (0766)25-0421 FAX (0766)25-0433

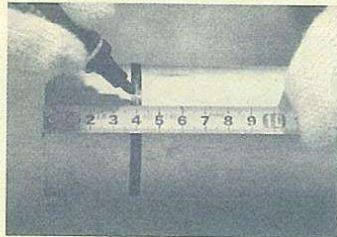
本社:〒102-8202 東京都千代田区三番町8-1
 TEL (03)3230-3920 FAX (03)3230-3432

札幌 ☎(011)865-1919 仙台 ☎(022)237-0734 名古屋 ☎(052)201-8681
 大阪 ☎(06)4706-6768 福岡 ☎(092)474-0762

GR-LA (離脱防止機能付きタイプ)

工程	接合手順・注意事項																														
1. 管の切断	<ul style="list-style-type: none"> 管軸に直角に切断して下さい。 切断面のバリを取り除き、軽く面取りをして下さい。 管の表面の傷や汚れ等は滑らかに除去して下さい。 																														
2. マーキング	<ul style="list-style-type: none"> 管の差込み長さ位置を、下表に従い管表面にマーキングします。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>サイズ</th> <th>差込長さ</th> <th>サイズ</th> <th>差込長さ</th> <th>サイズ</th> <th>差込長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20A</td> <td>28 mm</td> <td>50A</td> <td>38 mm</td> <td>125A</td> <td>53 mm</td> </tr> <tr> <td>25A</td> <td>28 mm</td> <td>65A</td> <td>53 mm</td> <td>150A</td> <td>53 mm</td> </tr> <tr> <td>32A</td> <td>28 mm</td> <td>80A</td> <td>53 mm</td> <td>200A</td> <td>73 mm</td> </tr> <tr> <td>40A</td> <td>28 mm</td> <td>100A</td> <td>53 mm</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 	サイズ	差込長さ	サイズ	差込長さ	サイズ	差込長さ	20A	28 mm	50A	38 mm	125A	53 mm	25A	28 mm	65A	53 mm	150A	53 mm	32A	28 mm	80A	53 mm	200A	73 mm	40A	28 mm	100A	53 mm	—	—
サイズ	差込長さ	サイズ	差込長さ	サイズ	差込長さ																										
20A	28 mm	50A	38 mm	125A	53 mm																										
25A	28 mm	65A	53 mm	150A	53 mm																										
32A	28 mm	80A	53 mm	200A	73 mm																										
40A	28 mm	100A	53 mm	—	—																										
3. 管の差込み	<ul style="list-style-type: none"> マーキング位置まで、管を継手に真っ直ぐ差し込みます。 																														
4. 締め付け	<ul style="list-style-type: none"> 下表の規定トルクに達する迄、ボルトを左右交互に締め付けます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>サイズ</th> <th>締め付けトルク</th> <th>サイズ</th> <th>締め付けトルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20A</td> <td>8~10 Nm</td> <td>80A</td> <td>45~50 Nm</td> </tr> <tr> <td>25A</td> <td>8~10 Nm</td> <td>100A</td> <td>45~50 Nm</td> </tr> <tr> <td>32A</td> <td>15~17 Nm</td> <td>125A</td> <td>55~60 Nm</td> </tr> <tr> <td>40A</td> <td>15~17 Nm</td> <td>150A</td> <td>65~70 Nm</td> </tr> <tr> <td>50A</td> <td>18~20 Nm</td> <td>200A</td> <td>110~120 Nm</td> </tr> <tr> <td>65A</td> <td>45~50 Nm</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	サイズ	締め付けトルク	サイズ	締め付けトルク	20A	8~10 Nm	80A	45~50 Nm	25A	8~10 Nm	100A	45~50 Nm	32A	15~17 Nm	125A	55~60 Nm	40A	15~17 Nm	150A	65~70 Nm	50A	18~20 Nm	200A	110~120 Nm	65A	45~50 Nm	—	—		
サイズ	締め付けトルク	サイズ	締め付けトルク																												
20A	8~10 Nm	80A	45~50 Nm																												
25A	8~10 Nm	100A	45~50 Nm																												
32A	15~17 Nm	125A	55~60 Nm																												
40A	15~17 Nm	150A	65~70 Nm																												
50A	18~20 Nm	200A	110~120 Nm																												
65A	45~50 Nm	—	—																												
5. 施工確認	<ul style="list-style-type: none"> 締め付け確認スペーサと本体ケーシングとの隙間が、スペーサ厚さと同程度以内であることを確認します (スペーサがつぶれる場合も有ります)。 ※規定トルク範囲内で締め付けても、隙間はばらつきますので、規定トルク管理を優先し、隙間はあくまでも施工確認の目安として下さい。 ※隙間ばらつきを安定させる為には、規定トルク上限狙いで締め付けて下さい。  <p style="text-align: center;"> 【OK】 【OK】 【NG】 </p>																														

FX-LA (離脱防止機能無しタイプ)

工程	接合手順・注意事項																														
1. 管の切断	<ul style="list-style-type: none"> 管軸に直角に切断して下さい。 切断面のバリを取り除き、軽く面取りをして下さい。 管の表面の傷や汚れ等は滑らかに除去して下さい。 																														
2. マーキング	<ul style="list-style-type: none"> 管の差込み長さ位置を、下表に従い管表面にマーキングします。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>サイズ</th> <th>差込長さ</th> <th>サイズ</th> <th>差込長さ</th> <th>サイズ</th> <th>差込長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20A</td> <td>28 mm</td> <td>50A</td> <td>38 mm</td> <td>125A</td> <td>53 mm</td> </tr> <tr> <td>25A</td> <td>28 mm</td> <td>65A</td> <td>53 mm</td> <td>150A</td> <td>53 mm</td> </tr> <tr> <td>32A</td> <td>28 mm</td> <td>80A</td> <td>53 mm</td> <td>200A</td> <td>73 mm</td> </tr> <tr> <td>40A</td> <td>28 mm</td> <td>100A</td> <td>53 mm</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> 	サイズ	差込長さ	サイズ	差込長さ	サイズ	差込長さ	20A	28 mm	50A	38 mm	125A	53 mm	25A	28 mm	65A	53 mm	150A	53 mm	32A	28 mm	80A	53 mm	200A	73 mm	40A	28 mm	100A	53 mm	—	—
サイズ	差込長さ	サイズ	差込長さ	サイズ	差込長さ																										
20A	28 mm	50A	38 mm	125A	53 mm																										
25A	28 mm	65A	53 mm	150A	53 mm																										
32A	28 mm	80A	53 mm	200A	73 mm																										
40A	28 mm	100A	53 mm	—	—																										
3. 管の差込み	<ul style="list-style-type: none"> マーキング位置まで、管を継手に真っ直ぐ差し込みます。 																														
4. 締め付け	<ul style="list-style-type: none"> 下表の規定トルクに達する迄、ボルトを左右交互に締め付けます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>サイズ</th> <th>締め付けトルク</th> <th>サイズ</th> <th>締め付けトルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32A</td> <td>7~10 Nm</td> <td>100A</td> <td>15~20 Nm</td> </tr> <tr> <td>40A</td> <td>7~10 Nm</td> <td>125A</td> <td>25~30 Nm</td> </tr> <tr> <td>50A</td> <td>12~15 Nm</td> <td>150A</td> <td>25~30 Nm</td> </tr> <tr> <td>65A</td> <td>12~15 Nm</td> <td>200A</td> <td>35~40 Nm</td> </tr> <tr> <td>80A</td> <td>15~20 Nm</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	サイズ	締め付けトルク	サイズ	締め付けトルク	32A	7~10 Nm	100A	15~20 Nm	40A	7~10 Nm	125A	25~30 Nm	50A	12~15 Nm	150A	25~30 Nm	65A	12~15 Nm	200A	35~40 Nm	80A	15~20 Nm	—	—						
サイズ	締め付けトルク	サイズ	締め付けトルク																												
32A	7~10 Nm	100A	15~20 Nm																												
40A	7~10 Nm	125A	25~30 Nm																												
50A	12~15 Nm	150A	25~30 Nm																												
65A	12~15 Nm	200A	35~40 Nm																												
80A	15~20 Nm	—	—																												
5. その他	<ul style="list-style-type: none"> FX-LAは離脱防止機能が無い為、何らかの方法で離脱防止を実施のうえ、施工してください。 																														